

～あかるく なかよく たくましく～

○子供の思い

先日、ある男の子（以下、A君とします）と一緒に絵本「できるかな？あたまからつまさきまで」（作・絵：エリックカール、訳：くどうなおこ、偕成社）を読む機会がありました。A君は、体を前後に動かしながら絵本の絵を見たり、絵を指さしたりして、絵本を見ることを楽しんでいるようでした。そんなA君の様子を見て、私は、絵本のせりふに合わせて歌（作曲：新沢としひこ、編曲：中村暢之）を歌い掛けてみました。



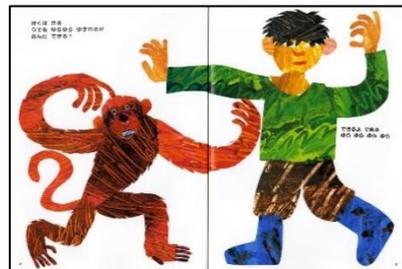
絵本の表紙
素敵な絵です

すると、A君は、「ああ。」と少し怒ったような声を出し、私の体を押ししました。私は、A君が「歌は、歌わないでほしい」という思いを表現していると感じ、「ごめん。ごめん。」と謝り、静かに見守ることとしました。

しばらくすると、A君は、私の顔を見て、ほほ笑みながら、「ああ。」と声を出し、体を大きく前後に動かしました。私は、A君が何を思っているのか分からず、ひとまず、A君と同じように体を動かしてみました。A君は、体を動かす私を見て、「きゃきゃ。」と笑い、体を動かすペースを速くしたり、遅くしたりし始めました。

私は、そうしたA君の様子を見て、A君は、日ごろから歌が大好きであることや、歌のリズムや歌詞を覚えており、口ずさんでいることを思い出しました。「もしかして、A君は、無言ながらも、頭の中で『できるかな？』の歌を歌っているのではないか」と考え、改めてA君の動きをじっくりと見つめてみました。

すると、A君が「できるかな？」という曲のリズムに合わせて体を前後、左右に動かしていることが分かりました。特に、「できるよ、できる♪」という曲のテンポが速くなる部分が好きなようで、頭の中で口ずさんでいるその部分になると、「きゃきゃきゃ。」と声を出し、リズムカルに手をたたいたり、体を前後に動かしたりしていました。



A君は、「できるよ できる」をやりたいときは、男の子の絵を指さしていました

その後、A君と私は、無言ながらも、「できるかな？」の歌に合わせて一緒に体を動かすことを続けました。すると、A君は、「できるよ、できる♪」の部分を表す絵を何度も指さし、「ここを（無言で）歌おうよ」という思いを伝えてくれました。

A君は、「僕が頭の中で歌うから、先生も一緒に声を出さずに歌ってよ」という思いをもっていたのではないかと感じました。子供の思いは、とても豊かであることを痛感するとともに、こうした思いを大切にしたいと思いました。今後も、子供たちの思いを想像して関わっていきたいです。（文責：小学部主事 塚田）

お知らせ

今年度予定していた「くりはま花の国プール」での活動ですが、コロナ禍への対応や施設工事の関係で、中止となりました。御承知おきください。